

宇都宮大学 研究データ管理・公開ポリシー

【基本方針・目的】

宇都宮大学（以下「本学」という）は、学術の中心として広く知識を授けるとともに深く学芸を教授研究して、知的、道徳的及び応用的能力を展開させ、真理と正義を愛する人格を育成して、人類の福祉と文化の向上に貢献することを目的として掲げている。人類の福祉の向上と世界の平和に貢献することを理念とし、広く社会に開かれた大学として、質の高い特色ある教育と研究を実践するため「幅広く深い教養と実践的な専門性を身につけ、未来を切り開く人材の育成」「持続可能な社会の形成を促す研究を中心に、高水準で特色のある研究の推進」「地域社会のみならず広く国際社会に学び貢献する活動の積極的な展開」の3方針を定めている。

以上の理念・方針のもと、本学における研究活動により生み出された研究データについて適切に管理・保存し、公開・利活用の原則を定めるものである。

【研究者の定義】

本ポリシーにおける研究者とは、本学の教職員、学生、受入研究員など研究に携わる全ての者とする。

【研究データの定義】

本ポリシーが対象とする研究データは、公開、非公開を問わず、本学における研究活動を通じ本学の研究者によって収集又は生成された情報をいい、デジタル・非デジタルかを問わない。

【研究者の役割と責務】

1. 研究者は収集・生成した研究データを適切に管理・公開・利活用する権利と責務を有する。
2. 研究者は、研究データの管理を行うにあたって、法令、契約等及び本学の規程その他の規則を遵守し、各研究分野における倫理的要件を尊重し、その価値や研究分野の特性等を踏まえ適切に管理及び保存するとともに、公開等の手段で研究データの利活用を促進するように努める。ただし、研究データの公開に際しては、第三者の権利や利益等を害することの無いよう十分に配慮する。

【大学の役割と責務】

本学は研究データの管理・公開・利活用を支援するための環境を整備し、研究者に提供する責務を有する。

【その他】

本ポリシーは、社会や学術状況の変化に応じて、適宜見直しを行うものとする。